

# ミズホ ウェットクリーニングシステム

## 実験ウェット

### ウェット用バイオソープ

涼 雅  
りょうが

高機能酵素配合

4kg: 4,200円 16kg: 9,200円



#### 特長

- タンパク汚れを高機能酵素が強力に分解します。
- 油汚れに強い特殊界面活性剤配合で高い洗浄性能。
- ノニオン(非イオン)系ですから他の洗剤、加工剤と併用できます。
- 無蛍光なので生成り衣類も安心です。

● ノニオン系

### ウェット用風合い向上剤

風 雅  
ふうが

風合い改良シリコーン配合

5ℓ: 6,500円 18ℓ: 20,000円



#### 特長

- 衣類にヌメリ感と光沢を与え、新品同様の風合いになります。
- 優れた防シワ効果があり、楽に仕上がります。
- ウール・シルクをはじめ、どんな素材にも効果があります。
- 抗菌消臭剤が配合されており、清潔に仕上がります。

● 力チオン系



株式  
会社

ミズホケミカル

# ウェット用バイオソープ「涼雅」

## ウェットクリーニングの洗浄として

- ▶ 標準使用量 0.2~0.3% (例: 水50ℓに100~150cc)
- ▶ 水の温度 40℃以下 常温(15~25℃)でも高い洗浄力はありますが温水(35~40℃)であれば酵素の効果がよりアップします。  
ただし、デリケートな素材は常温で処理してください。
- ▶ 注意
  - 希釀液で保管しないでください。(水などを混入させない事、酵素効力が減少します)
  - 直射日光をさけ、高温多湿にならない場所に保管してください。



## ランドリーの前処理剤として

- ▶ 原液を汚れの部分につけて、水か温水でのばして、10~30分後に洗ってください。  
(水が加わると酵素が活性化して汚れを分解します)
- ▶ 大量に使う場合は、原液を2倍に希釀した液を作つておくと便利です。  
(希釀液はその日のうちに使い切つてください。作り置きは酵素の効力が低下します)

## 洗浄力アップの補助剤として

- ▶ 使用洗剤に「涼雅」を3分の1程度併用して下さい。(例: 使用洗剤が100ccなら約30cc)

# ウェット用風合い向上剤「風雅」

## ウェットクリーニングの加工剤として

- ▶ 使 用 法 ① 水に0.5~1.0%の「風雅」を投入し、よく攪拌し、加工液を作ります。
  - 加工液は長時間放置すると、分離する場合がありますので、作り置きはせず早めに使用してください。
- ② 加工液にすすぎ終えた衣類を3~5分漬け込みます。
  - 柔軟性をアップさせたい場合はソフターを併用してください。  
ソフターを併用の場合は、「風雅」使用量は半分(0.2~0.5%)が適当です。
  - ハリを与える場合には適量の糊剤を加えてください。



- ▶ 注意 ※衣類には「風雅」原液が直接付着しないように注意してください。  
「風雅」がムラ付きした場合はドライ溶剤または油性シミ抜き剤で落としてください。  
※「風雅」はアニオン系の洗剤・助剤とは混合しないでください。  
※「風雅」には弱い撥水性があります。薄物へ使用する場合は、「風雅」の量を控えるか、ソフターを併用してください。

## 標準使用例

「涼雅」 洗浄工程	水洗機処理(被洗物10kgに150~200cc)			つけ込み処理(水量に対して0.3%)		
	水 位	温 度	時 間	水 位	温 度	時 間
洗 い	中水位	常温~40℃	5~10分	中水位	常温~40℃	15~30分
すすぎ1	高水位	常 温	2分	高水位	常 温	2分
すすぎ2	高水位	常 温	2分	高水位	常 温	2分
「風雅」 仕上加工	水洗機処理(被洗物10kgに250~500cc)			つけ込み処理(水量に対して1%)		
	中水位	常 温	3~5分	中水位	常 温	3~5分

※洗浄・加工時間は汚れや素材に合わせて調整してください。  
※1回すすぎにする場合は、洗いの後に中間脱水を行つてください。

# 「風雅」「涼雅」で簡単ウェット

ワッシャーでのウール洗いに(スーツ・コート・ジャケット類)

## 使用例

機 械: 18kg(20kg) ワッシャー機  
被洗物: ウール厚物 10kg(背広上下約10着分)

## 1.準備

衣類をワッシャーに入れ、水(常温~35°C)を中水位、「涼雅」200ccを投入し2回程攪拌する。  
その後「風雅」200ccを水で薄めて投入する。

※「風雅」にはウールの防縮効果があります。  
ムラ付きを防止するため、2~3倍量の水で薄めて衣類に直接かかるないように入れてください。

## 2.洗い

[中水位]

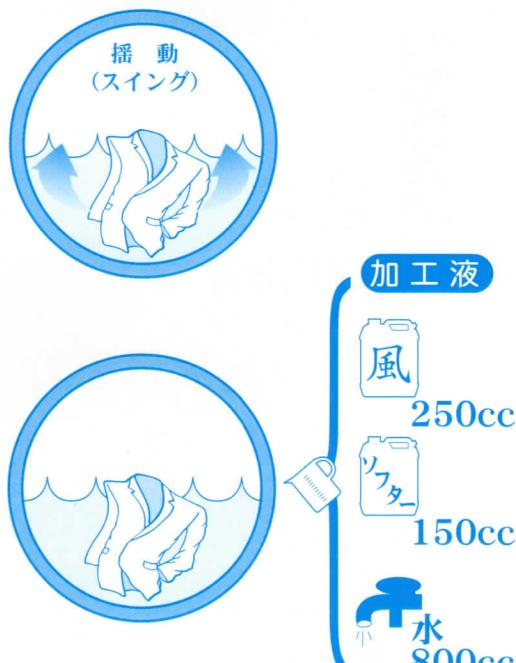
揺動 (スイング) 5分間  
⇒排水後、弱脱水 2分間



## 3.濯ぎ

[高水位]

揺動 (スイング) 5分間  
⇒排水後、弱脱水 2分間



## 4.加工

[中水位]

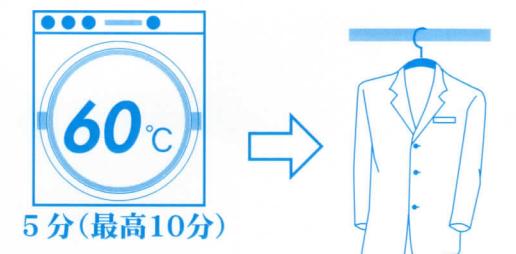
注水後、ソフター(標準タイプ150cc)と「風雅」250ccを混合したもので2倍量の水(800cc)で薄めて投入し、2分間攪拌(揺動)します。

**ポイント** • ハリを与える衣類には適量の糊剤を加えてください。  
• より風合いをアップしたい場合は「風雅」の使用量を増やしてください。

**△ 注意** ムラ付きを防止するため、加工液は衣類に直接かかるないように投入してください。

## 5.脱水

排水後、弱脱水 1分間



## 6.乾燥

タンブラー乾燥(60°C: 5分間)ではぐした後、ハンガーアップで形を整えて、ボックスまたは自然乾燥します。

**ポイント** 脱水後、乾燥はすぐに行ってください。(シワ、型崩れ防止)

## 7.仕上

80%乾燥したら、スチーム仕上げします。  
縮みが起きている場合は、ここで修復を行います。  
人体プレス、パンツトップバーの利用が便利です。  
必要に応じてアイロンで手直ししてください。

**ポイント** 仕上げ前の完全乾燥は避けてください。  
整形は半乾燥の状態だと簡単にできます。

## 仕上げ

- アイロン
- パンツトップバー
- 人体プレス



# タイプ別対処法

洗いは素材・色別に行ってください。  
また、薄物と厚物も分けてください。

## 伸びやすい素材 (セーター・カーディガン等のニット類)

洗う前に寸法を確認し、仕上げ時に修正します。  
吊るし干しは不可。必ず平干ししてください。



## 型崩れ、収縮が心配な素材 (スーツ・ジャケット・学生服等)

ネットを使用してたたんだ状態で洗いから仕上げまで行ってください。  
脱水は短時間で行い、乾燥時に形をよく整えて、吊るし干しします。



## シワのでやすい素材 (シルクのブラウス・レーヨン・麻製品等)

機械力はできるだけ避けて、洗いは漬け込みで行います。  
脱水後は、時間をおかず、すぐに乾燥してください。



## 色が出やすい素材 (濃色に染めた綿・麻製品等)

短時間処理を行います。  
必ず他の被洗物と分けて処理を行うこと。  
洗浄時に色止め剤の併用が望ましい。  
吊るし干しは不可。可能であればタンブラー乾燥を行います。



# 汚れがひどいものに、、、

## 全体的に汚れている場合

「涼雅」40°Cで漬け込み処理を行います。ただし、時間は30分を限度とします。

## 部分的な汚れの場合

「涼雅」を水で2倍に薄めて汚れの部分につけ、10~30分後通常のウェット処理を行います。

## シミ

前処理でシミ抜き剤スポットゼリー「M 1」「M 2」「M 3」の使用が便利です。  
とりきれない汚れ(色素)はペースト状漂白剤「ブリーチスターM 5」をお使いください。

## 汗の黄変

ウェット処理で取りきれなかった黄ばみには、黄変除去剤「イエローカット」をお使いください。



株式会社 ミズホケミカル

〒224-0053 横浜市都筑区池辺町3473 TEL.045-935-1232